伝 DEN

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION
公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌

No.19
2016.10.12
発行

心豊かに作業療法

CONTENTS - テーマ：自動車運転 -

1 教えて！ 作業療法「病気や障がいのある方の自動車運転」
2 まんが作業療法物語 ～自動車運転編～
7 フレッシュマンインタビュー：
- サンライズ酒井病院：松木和歩氏
- 加藤病院：案部勇輔氏
- 大分こども療育センター：桑野奈菜美氏
- おおの診療所デイケアセンター：衛本瑞希氏

9 施設紹介：社会医療法人 敬和会 介護老人保健施設 豊寿苑
10 第19回大分県作業療法学会
11 平成28年熊本地震 災害リハビリテーション支援活動報告
12 作業療法の歴史 ～今、求められる作業療法～
13 以心 DEN 心
14 活動報告

公益社団法人 大分県作業療法協会

教えて！作業療法

病気や障がいのある方の自動車運転

「からだに障がいがあっても、自動車を自分で運転して好きなときに好きな場所へ自由に出かける！」そんな積極的な生き方を選択する方が増えています。障がいに合わせた**運転補助装置**を組み合わせて、車を運転できる時代になりました。

しかし一方で、病気や障がいが原因となる交通事故が起きていることは事実です。

《 平成26年6月1日に道路交通法が改正されました。》

免許取得・更新時に病気等の症状に関する「質問票」の提出義務がある。	診察したものが一定の病気に該当すると判断したとき。	一定の病気等に該当する疑いがあると認められたとき。
↓	↓	↓
虚偽記載した場合１年以下の懲役または30万円以下の罰金	医師による任意の届出制度	免許の効力暫定停止制度

「警察庁・都道府県警察ホームページ(平成25年6月14日公布)」より

作業療法士が自動車運転に関して具体的にできることは？

認知機能評価
自動車運転に必要な認知機能を評価します。

身体機能評価
自動車運転に必要な身体機能を評価します。

自動車運転評価
シミュレーターや実車によって、自動車運転技能を評価します。

希望の把握
自動車運転によって生まれる趣味や役割などの把握をします。

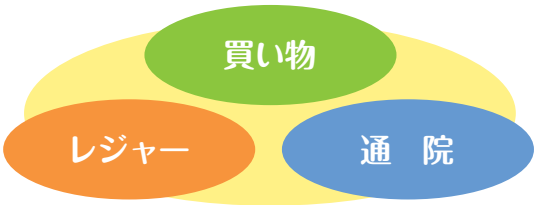
運転技能向上訓練
運転能力向上のためにプログラムを提供します。

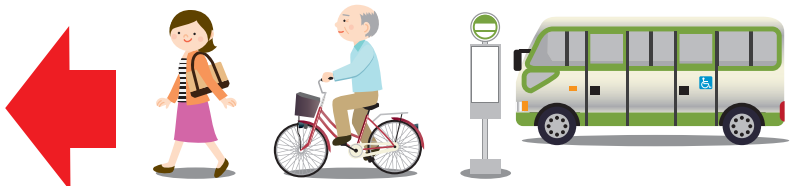
環境支援
自動車の環境調整や家族支援などマネジメントを行います。

関係機関との連携
運転免許センターや教習所と連携して支援します。

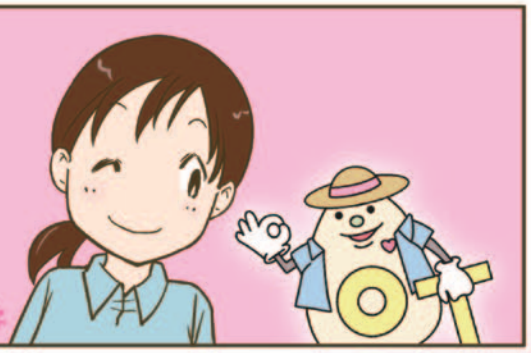
自動車運転が難しいと判断された場合の作業療法士の役割とは？

作業療法では、生活を形成する人間活動の総称を「作業」と言います。作業には生活に潤いや希望、活力を与えるものと、それを実現するための手段となるものがあります。自動車運転は主に後者で、例えば、買い物やレジャーや通院などの手段となり生活を支えています。なんらかの障がいがあり自動車運転のような作業がうまく遂行できなくなったときに、そうした状況を改善して、再びできるように支援して、生活を再設計するのが作業療法士の役割です。





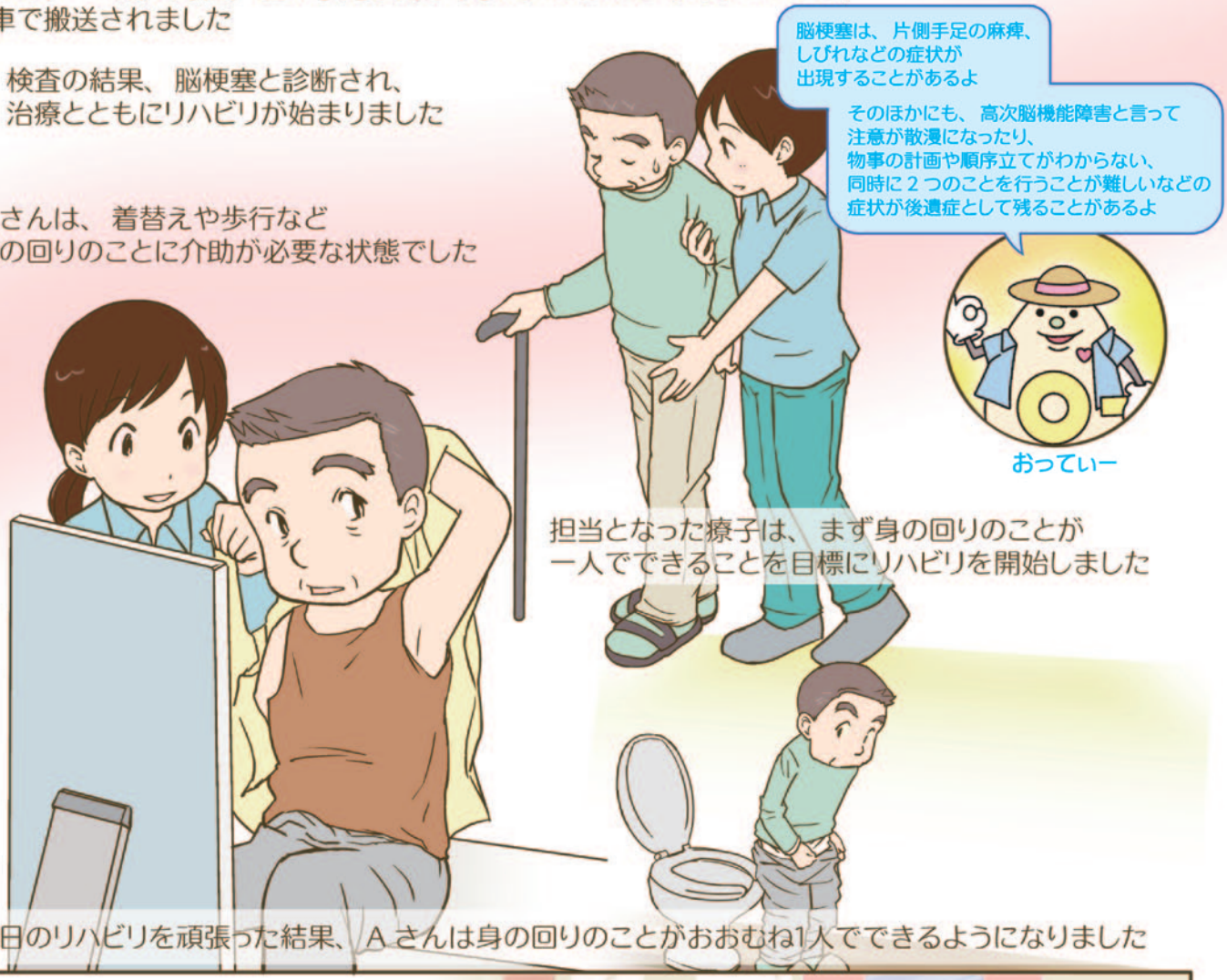
まんが 作業療法物語
～自動車運転編～



Aさんは、58歳の男性、左の手足が動かず歩くことができなくなったため、救急車で搬送されました

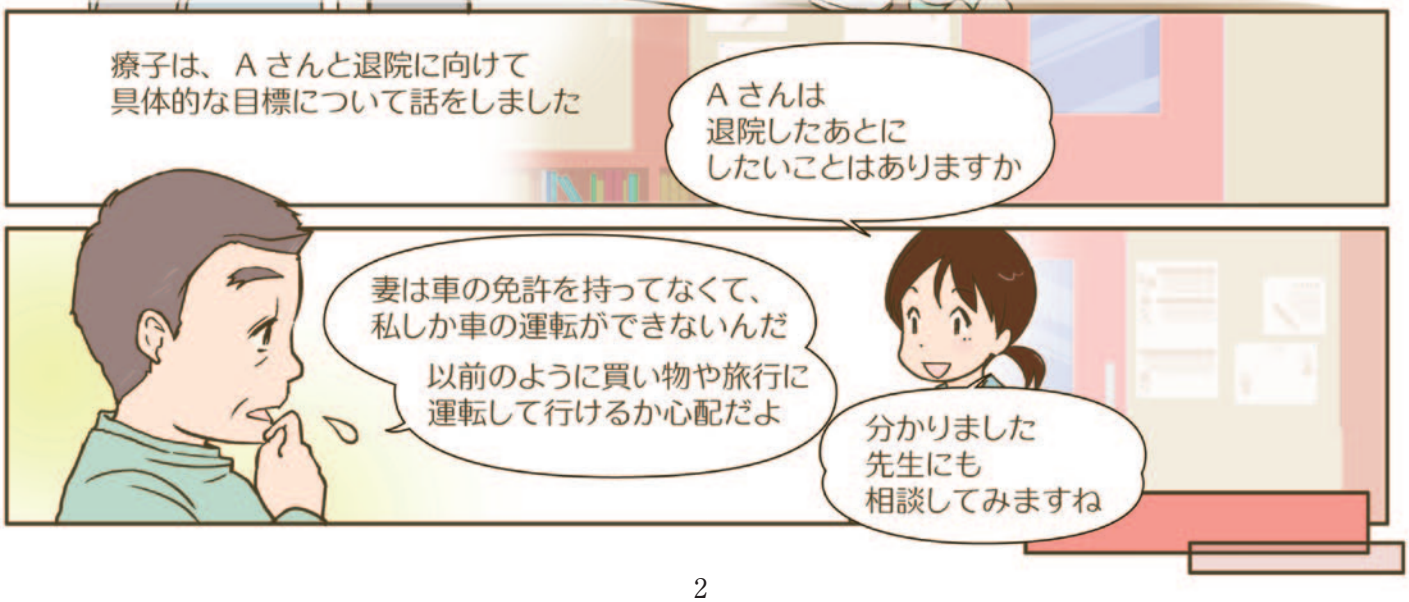
検査の結果、脳梗塞と診断され、治療とともにリハビリが始まりました

Aさんは、着替えや歩行など身の回りのことに介助が必要な状態でした



担当となった療子は、まず身の回りのことが一人でできることを目標にリハビリを開始しました

毎日のリハビリを頑張った結果、Aさんは身の回りのことがおおむね1人でできるようになりました



次の日、主治医に
Aさんの運転について相談しました
てんかん発作も見られないし、
状態も安定しているね
運転再開に向けて、
詳しく評価してみよう
よろしく
お願いします
これは
見えますか？
車を運転する際に必要な
能力の評価をすることになりました
身体の動きを
評価しますよ
高次脳機能障害については
「伝」No.13 で特集しているよ
評価では単に手足の動きだけでなく、高次脳機能障害がないか詳しく検査します
例えば、交通量の多い道路での運転や長時間の運転が安全にできる集中力、
車間距離をとったり車線変更するなど状況に応じた瞬時の判断力などを評価します
評価の結果、主治医から運転再開に向けた訓練の許可がおり、
より細かい運転技術の評価が始まりました
視力や高次脳機能障害も
特に問題ありませんでした
Aさんは、後日ドライビングシミュレーターで、
ハンドル操作や赤信号に対する
ブレーキの反応スピードなどを調べました
左手の麻痺がわずかに残っているので、
ハンドル操作などで
難しさも出てくるでしょう
ドライビングシミュレーターで
実際にハンドルを握ってみましょう
実際にハンドルが
握れるんですね
緊張するなぁ
NAVIGATION
※ドライビングシミュレーター：自動車の運転・走行をシミュレート する運転練習用装置

瞬時に判断する場面も
問題なく行えていました

ただ、右手だけでハンドルを握ると、
上手く操作ができないようです
楽にハンドルを回せる装置があるので
免許センターに行って評価してもらいましょう

後日、主治医の診断書を持って、免許センターへ実車評価に行きました

療子は免許センターに同行し、
運動能力や高次脳機能の評価とシミュレーターの結果を伝えました

窓口

※平成26年6月1日に道路交通法が改正され、
免許の取得・更新時に一定の病気などに該当するかどうか、質問票の提出が義務付けられました
該当する場合は、医師の診断書提出を求められることがあります

これから、ハンドルに
ノブを装着した車に乗ってみます
まずは、ハンドル操作に
慣れていきましょう

身体の障害の状態に合わせて
安全に運転ができるように
運転補助装置の
検討も行っていきながら評価していくよ

姿勢を崩すことなく
運転できていました

ハンドルには、ノブ型旋回装置と、
右にワイパーレバーを付ければ、
右手ですべての操作が
安全にできると思います

これがあると
回しやすいですね

免許センター…自動車運転免許証の新規交付・更新・記載事項の変更などを行います
技能試験を行うための所内運転コースもあります

後日のカンファレンス…

免許センターに行って
運転に関わる
機能は問題なく、
補助具を用いることで
運転再開の許可が出ました

夫は
喜んでいます

ただ実際に
道路での運転が
できるのか
少し心配です

運転に関しては、
自動車教習所での
練習も可能です

お願いします

補助具を付けての運転に
慣れるためにも、
病院を退院後に何度か
練習をしに行きましょうか

病院を退院後、Ａさんは免許センターに行き、走行距離や運転補助装置付など、
条件付きの免許証を交付してもらいました

リハビリは外来通院を行い継続することになりました

自動車教習所へ行き、路上での練習が始まりました

カーブを曲がる時に
スピードが速いです
しっかりとスピード落として、
曲がるように意識しましょう

療子は、自動車教習所での運転の様子を録画し、
動画を見ながらＡさんと振り返りを行いました

リハビリの様子

運転時、車が左右へ
ふらつくそうです

前の車との
車間距離が近いので
もう少し車間距離を
取るようにと指導がありました

自動車教習所へ何度か行って練習し、ハンドル操作が安定しました

作画：ヨギリリ　　作画協力：桜川シヤ http://ramblecat.blog115.fc2.com/

自動車運転の評価や支援については医療機関によって異なりますのでご確認下さい

おわり

フレッシュマンインタビュー

身体分野

対象者の方々に信頼していただける作業療法士を目指しています。

サンライズ酒井病院　**松木 和歩**氏

学生時代

リレーフォーライフに参加

家事動作訓練

職場外観

Q1. OTを目指そうと思ったきっかけは何ですか？

高校生の入学当初は趣味を仕事にと考えていましたが、祖母の勧めもあってリハビリの職種に興味をもち、作業療法士という医療職について知りました。たくさんの困っている方の役に立てる仕事につきたいと考えるようになり、作業療法士を目指そうと思うようになりました。

Q2. 今後の目標は？

働き出してからがスタートだと思っています。何事にも興味、意欲をもって取り組んで、対象者の方々に信頼していただける作業療法士を目標にこれからも頑張っていきたいと思っています。

Q3. これからOTになろうと思っている方へのメッセージ

医療職なので医学など学ぶことは多く大変ですが、働き出してからも同じなので、未来の働くイメージを持って、プラス思考で取り組むと学ぶことを楽しめると思うので頑張ってください。

Q4. 休日の過ごし方は？

対象者の方に提供するプログラムの立案や趣味であるゴルフ、魚釣り、ドライブなどを楽しんでいます。

精神分野

身体面のみならず精神面からもアプローチできることに魅力を感じました。

加藤病院　**案部 勇輔**氏

卒業式での集合写真

国家試験勉強

塗り絵作業

職場外観

Q1. OTを目指そうと思ったきっかけは何ですか？

身内がストレスによる病気で寝込んでしまい、いつもの明るい様子とは違いました。その際に作業療法士を知り、身体面のみならず精神面からもアプローチできることに魅力を感じました。

Q2. 今後の目標は？

常に疑問を持ち、対象者の方が今何を感じ考えているかに共感し、その人の本当のニーズに沿った意味のあるリハビリを提供していけるようなOTになりたいと考えています。

Q3. これからOTになろうと思っている方へのメッセージ

専門学校の勉強は初めてのことばかりですが、勉強は将来の財産になるという言葉を聞いたことがあり、まさにその通りだと思います。つらく厳しいこともあると思いますが、学生のときは遊びと勉強を両立してください。

Q4. マストグッズは？

「メモ帳」
対象者の方の特徴や病状を都度記録しています。

今年の４月から作業療法士の第一歩を踏み出した、大分県内の「身体分野」、「精神分野」、「発達期分野」、「高齢期分野」で活躍されている４名のフレッシュマンに話を聞きました。

発達期分野

患者様の喜びや笑顔を近くで感じることができる仕事です。

大分こども療育センター　**桑野 奈菜美**氏

リハビリの様子

卒業式

体育祭

職場外観

Q1. OTを目指そうと思ったきっかけは何ですか？

スポーツで怪我をしてリハビリの仕事を知りました。その後に親から作業療法士の仕事を教えてもらい興味を持ちました。調べていくうちに「療育」という言葉を知り、こどもの将来の手助けができたらと思い作業療法士を目指しました。

Q2. 今後の目標は？

こどもや保護者の方に寄り添って、困りなどを一緒に乗り越えられるような作業療法士になりたいです。難しいことも多いですが、担当のお子様にあった支援ができるように心がけ、こどもたちの小さな変化を大切にしていきたいと思います。

Q3. これからOTになろうと思っている方へのメッセージ

大変なこともあると思いますが、患者様の喜びや笑顔を近くで感じることができる仕事です。すごく夢のある仕事だと思うので頑張って作業療法士を目指してください。

Q4. 休日の過ごし方は？

専門学校時代の友達とドライブや食事に出かけたりして楽しい時間を過ごしています。

高齢期分野

楽しいことばかりではないと思いますが、OT以上に素敵な職業はありません。

おおの診療所デイケアセンター　**衛本 瑞希**氏

登山での集合写真

園芸作業

計算課題

職場外観

Q1. OTを目指そうと思ったきっかけは何ですか？

親戚にOTという職業があることを教えていただきました。そして高校生のときの職場体験でお世話になった方に憧れてOTを目指そうと思いました。

Q2. 今後の目標は？

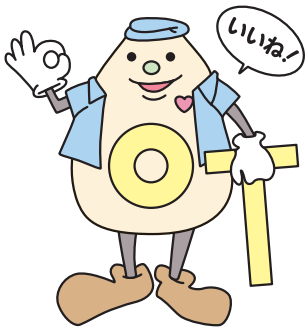
利用者さんの心に寄り添えるOTになりたいです。

Q3. これからOTになろうと思っている方へのメッセージ

幅広い分野に携われるOTは、多くの方と交流を図れ、自分自身を成長させてくれます。決して楽しいことばかりではないと思いますが、OT以上に素敵な職業はないと、私は専門学校の3年間で感じました。

Q4. マストグッズは？

「ミンティア」
気持ちのリセットのために
口にしています。



社会医療法人敬和会
介護老人保健施設 大分豊寿苑

所 在 地：大分市大字皆春1521番地の1
TEL 097-521-0110
事業内容：入所（90床）、通所（定員120名）、訪問リハビリ
関連施設：大分豊寿苑総合在宅ケアセンター（陽だまりの郷みなはる、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション、グループホームおおざい憩いの苑・こいけばる憩いの苑）
職 員 数：137名（うち作業療法士9名）

リハスタッフ

大分豊寿苑　理念

「生」生活支援「絆」地域密着「安」医療連携
「夢」意思の尊重「輝」生活機能向上
これら５つをキーワードに、医療、看護、介護、リハビリを総合的に提供する。

施設紹介

当苑は、平成７年（1995 年）大分市皆春に病院と在宅をつなぐ中間の施設として開設いたしました。現在も地域の方々の在宅生活を支えるため、在宅復帰に力を入れている施設（在宅復帰強化型老健）として施設入所や通所、ご自宅への訪問など積極的に取り組んでいます。ADL 向上、外出支援、地域での役割に関与し、利用者の「やりたいこと」の実現に向けて多職種が関わる中で、人と作業に着目する、作業療法の視点が活かされています。さらに通所と訪問では、在宅生活を１日でも長く継続できるよう、地域生活を支える作業療法を行っています。

介護予防事業への取り組み

平成 27 年度より、大分市の委託事業である「大分市介護予防事業　元気はつらつ教室」に取り組んできました。地域包括ケアシステムの視点である「住み慣れたところでより長く生活する」ことを目指し、専門職による教室活動に力を入れ、地域住民の健康管理の意識向上に努めました。敬和会はグループ内に大分岡病院、大分東部病院があり、たくさんの専門職が関わる事ができています。その経験から、地域の元気高齢者に積極的に老人保健施設に関わっていただく取り組みとして、「介護サポーター※1」を開始し、いわゆる超高齢社会問題（2025 年問題※2）への対策として、自助力（自分のことは自分でやる力）・互助力（ご近所同士の助け合いなどの相互援助の力）の育成に取り組む施設として今後も活動を継続していく予定です。

Profhand（プロファンド）

セラピー用アザラシ型ロボット -PARO-

※１：介護サポーター
地域の元気な高齢者に無償ボランティアとしてだけでなく、有償ボランティア（労働力）として当苑に関わってもらう活動です。

※２：2025 年問題
団塊の世代が概ね 75 歳以上の後期高齢者となる時期で要介護者が急増すると言われています。一般的に 75 歳以上の後期高齢者になると要介護状態になる方が増える傾向にあります。

卒業生ボランティア

記事担当者／谷口 理恵

第19回大分県作業療法学会

テーマ「地域の『力』～地域で必要とされる作業療法士になるために～」

開催日時：平成28年1月24日（日）9：30～16：00

開催場所：ホルトホール大分

内　　容：①特別講演　**「地域包括ケアの実現に向けて～作業療法士への期待～」**

講　師：　村井 千賀 氏

厚生労働省老健局老人保健課課長補佐(当時) 作業療法士

②ワークショップ　**「生活行為向上マネジメント実践編」**

講　師：　佐藤 友美 氏

日本作業療法士協会 生活マネジメントプロジェクト推進委員/湯布院病院

③演題発表　一般演題（27演題）

④学会長賞・特別賞表彰式

学会長賞：山本 貴美 氏（湯布院病院）

「"したい生活行為"の実現は対象者をエンパワメントする～帯状疱疹性髄膜炎を呈した事例を通して～」

矢野 豊久 氏（明和記念病院）

「全盲者の自立した社会参加への取り組み～リハビリテーションマネジメントの重要性と課題～」

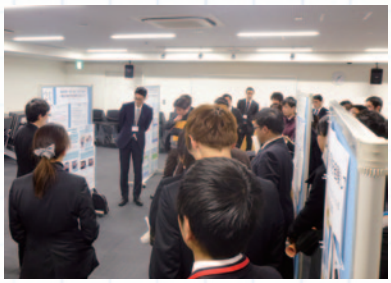
特 別 賞：國政 和子 氏（日田ソーシャルビジネス研究会 日楽灯会）

「ココロが動けば、カラダも動く～日田市自発的活動支援事業と作業療法～」

参加者数：158名

実行委員長挨拶

村井千賀氏の特別講演


ポスター発表

口述発表

当日はあいにくの大雪でしたが、会員･学生だけでなく、一般の方々の参加もありました。特別講演では、村井氏に厚生労働省の立場から、行政の求める作業療法士の地域包括ケアでの役割についてご講演いただきました。作業療法士には、日常生活に関わる活動や地域社会への参加ができるようになる関わりに特に重点を置く必要があると分かりました。また、今回は新たにワークショップを設け、佐藤氏の講演と日本作業療法士協会生活行為向上マネジメント指導者３名による事例発表を行いました。生活行為向上マネジメントとは、生活から失われた「やりたいこと」を「できる」ようにして、いきいきとした地域生活を継続するための支援ツールで、これを実践するために必要なことやコツを参加者と共に考える機会となりました。一般演題には27演題のエントリーがあり、厳正な審査の結果、「地域で求められている役割」を理解し、一層の資質向上と地域包括ケアシステム推進に大きく貢献する演題として、学会長賞２題、特別賞１題を選考し表彰しました。

本学会を通して、他県に先駆けて全市町村での地域ケア会議がスタートしている大分県で、誰もが住み慣れた地域で健康に暮らし続けるために必要な私たちの専門性を再確認できました。地域の『力』を最大限に活かしながら未来を創造するために作業療法の技が必要であることを多くの方々と共に考える機会となったと考えます。

平成28年熊本地震
災害リハビリテーション支援活動報告

湯布院病院　城　緑

平成28年4月に起きた熊本地震で被災した方へ大分JRATより医師、理学療法士、作業療法士で構成された2チームが、5月8日～15日の7日間、熊本県の南阿蘇村へ派遣されました。この内、作業療法士は、井野辺病院 岸本周作 氏、湯布院病院 大田繁 氏、郷司実花 氏、城 緑の4名でした。

活動目的は、避難生活により生じた被災者の生活不活発病の改善、及びその恐れがある方の予防です。主な活動内容は、個別に生活状況の聞き取りや動作をアセスメントし、被災者の困っていることを抽出した上で、集団での体操やレクリエーションのほか、避難所の生活環境の整備、福祉用具の調整を行いました。また、被災者自身が生活不活発病になった際に自分で解決できる方法を教えました。7日間、数カ所の避難所を巡回し、これらの指導をしました。

最終日は、大分JRATから地元の保健師に引き継ぎを行い、終了しました。

支援内容の打合せの様子

大分JRAT
（大分災害リハビリテーション推進協議会）

熊本地震が発災し甚大な被害が起き、避難所での生活の長期化が予測され、生活支援等による生活不活発病等の災害関連死を防ぐことを目的に結成しました.

これにより、大規模災害時に全国組織であるJRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）と連動し、かつDMAT（災害派遣医療チーム）・JMAT（日本医師会災害医療チーム）等と連携しながら、支援活動を組織的に実行しています。

生活不活発病の予防のポイント

- 毎日の生活の中で活発に動きましょう
- 動きやすいよう、身の回りを片付けましょう
- 歩きにくくなっても、杖などで工夫しましょう
- 避難所でも楽しみや役割をもちましょう
- 「安全第一」、「無理は禁物」と思い込まない

第72回　厚生労働省介護給付費分科会資料より改変

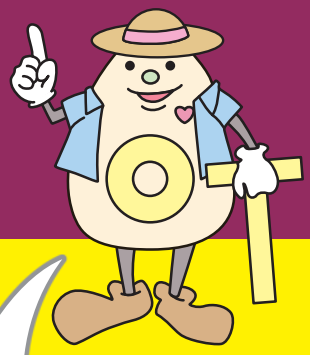
熊本への災害リハ支援活動を通して

私は、被災者へのリハ支援の経験はなく、今回の活動に対し不安がありましたが、「何かできれば」との思いで参加しました。今回の経験を通して、平常時から地域の方々に自立支援、生活不活発に関する啓発をしていくことが大切であると感じました。なぜなら、被災により普段行っていた生活行為ができなくなりますが、できないことに私たちが支援するだけではなく、地域の方々が避難所等で自助・互助により支え合うことや生活不活発病の予防に向けて取り組むことが当たり前の活動として根付くことが、大切だからです。平常時から災害リハの視点でサポートすることも作業療法士の役割であると考えます。

集団体操の指導場面

避難所へ向かう場面

作業療法の歴史
～今、求められる作業療法～



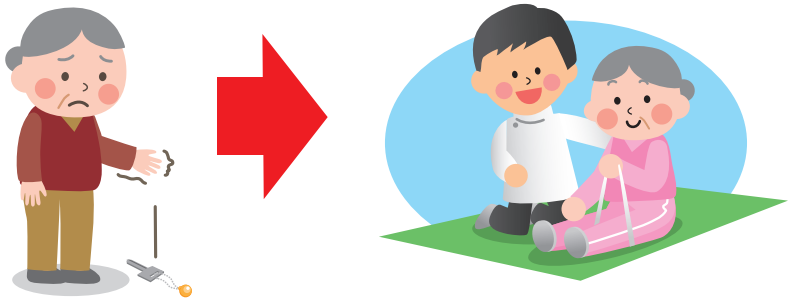
日本作業療法士協会が設立され、今年で50年の節目を迎えます。
そこで今回は、日本の作業療法の歴史についてご紹介します。

日本で初めて作業療法士が誕生したのは 1966 年。
同年に日本作業療法士協会が設立されました。

世界的にみると作業療法の起源はなんと紀元前と言われているんだよ。カンフー、音楽、乗馬などが、健康増進に用いられていたんだ。

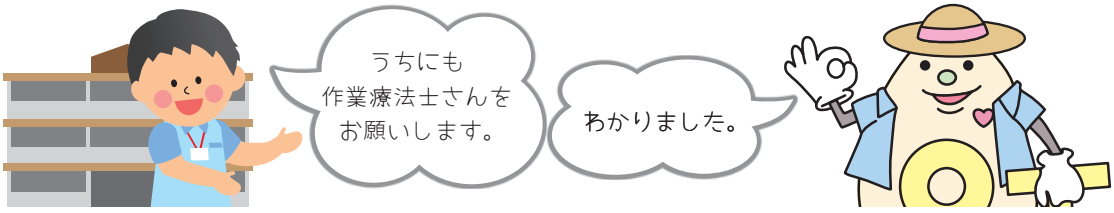
1966

当時の教育は 1960 年代北米の実践を習い、わが国の作業療法士は機能障害（できないこと）の改善を図ることが障害のある人の生活の再建に結びつくと考えていました。



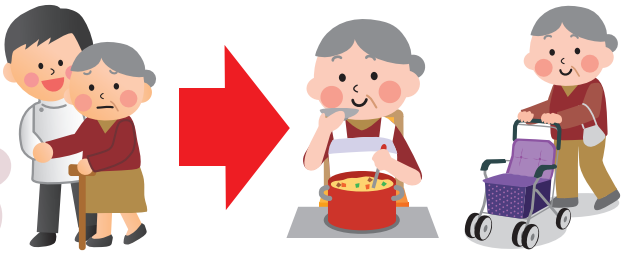
1980

1980 年代には病院やクリニックなどの医療領域での対応だけではなく、地域の高齢者や障害者施設などの保健福祉領域の体制整備が施策的にも求められるようになり、そこでも作業療法士の活躍が期待されるようになりました。



こうした流れのなか、人の健康状態の捉え方を、『病気や機能障害をみる視点』から、様々な障害を持ちながらも有する力を最大限に生かし日常生活や社会参加を再獲得する『生活機能をみる視点』へと変更しました。

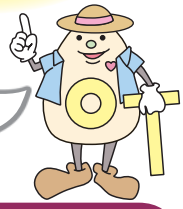
2013



いつまでも元気で地域で暮らせるように生活を見直そう

日本では 2013 年に総人口に占める 65 歳以上の割合が 25% を超え、世界一の高齢化率となりました。2025 年には未曾有の少子高齢化社会を迎えるため、「地域包括ケアシステム」の構築が喫緊の課題となり、日本作業療法士協会では障害のある人や高齢者の生活行為の維持・向上を図る「生活行為向上マネジメント」を開発しました。

詳しくは「伝」13号の11ページに掲載してるよ。



今後、わが国の作業療法は急性期型の医療への貢献と同時に、地域のなかで人々の活動と参加を支援する役割が期待されています。国民の主体的な生活を支えるために、作業療法士はリハビリテーションの専門職としての役割を担いつつ、生活者の基盤となる「作業」の継続を支え、個人と地域社会の相互関係に働きかけていくことが重要になります。

作業療法、道半ば

藤華医療技術専門学校
作業療法学科
彌田　剛

豊後大野市三重町にある藤華医療技術専門学校に勤務しております彌田(ヤダ)と申します。早いもので、作業療法士になって今年で25年目を迎えるとともに教育に携わって16年目になります。

最初に、先般発生した熊本地震でお亡くなりになられた多くの方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、WFOTが2004年に定めた作業療法の定義には、「Occupational therapy is a profession concerned with promoting health and well being through occupation. The primary goal of occupational therapy is to enable people to participate in the activities of everyday life. Occupational therapists achieve this outcome by enabling people to do things that will enhance their ability to participate or by modifying the environment to better support participation.」とあります。すなわち、「人々の健康で幸福な生活の推進や参加を支援するための環境整備が作業療法士の仕事である。」と定義しています。今回のような大規模震災が起こるたびに考えるのですが、被災された方々はそれまでの日常を奪われ、心身に大きな傷跡を残します。上述した定義と照らし合わせ、このような方々に対して作業療法士は、どのような形でお役に立てるのか？とても難しい課題と感じています。このことは近年、地域ケア会議に参加させていただく中でも感じることです。様々な背景を持つ対象者の思いを感じ取り、且つ他職種の方々と協業して上記目的を達成するためには、医学や運動学的知識を基盤とした援助はもちろんのこと、心理学、法律の知識、地域課題などを知っておく必要があります。そして、最も大切なことは、協業の場における自己の表出方法だと感じています。作業療法が持つ力は無限大です。しかし、作業療法を最大限に活用できるようになるためには、感性を研ぎ澄まし、多くの経験を積む必要があると感じるこの頃です。

活動報告　2016年3月▶2016年6月

生活行為向上マネジメント基礎コース　追加研修会
日　時：3月4日(金) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：演習、最新情報説明
講　師：大田 繁
（大分県MTDLP推進委員／湯布院病院）
参加者：7名

地域ケア会議助言者研修会
日　時：3月11日(金) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：「作業療法士に求められるもの」
「助言者としての覚悟」、ワークショップ
講　師：佐藤 暁(常務理事／井野辺病院)
参加者：10名

平成27年度　第3回 理事会
日　時：3月11日(金) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
参加者：理事12名、監事1名、役員10名

地域ケア会議助言者スキルアップ研修会 ④
日　時：3月25日(金) 19:00～21:00
場　所：ホルトホール大分
内　容：①「認知症の自立支援を考える～地域での取り組を通して」
講師：平ヶ倉 文雄(デイサービスセンターかざぐるま管理者)
②「助言者に必要な障害福祉の基礎知識」
講師：高森 聖人(会長／株式会社空色)

平成28年度　第1回 理事会
日　時：4月21日(木) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
参加者：理事12名、監事1名、役員7名

作業療法ミニフェスタin城下かれい祭り
日　時：5月15日(日) 10:00～15:30
場　所：日出町
内　容：リハビリテーション相談、作業療法体験

人材育成道場Ⅱ（講師編）
第1回
日　時：5月15日(日) 19:30～16:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：講義、演習
①「伝えるコツ」
講師：後藤 英子(常務理事／大分リハビリテーション専門学校)
②「講義プランの考え方」
講師：甲斐 裕介(企画調整部長／藤華医療技術専門学校)
③「プレゼンテーションの行い方」
講師：洲上 祐亮(教育研修部長／大分豊寿苑)
④ 演習「第1回目の発表へ向けた資料作成」
参加者：5名

第2回
日　時：5月26日(木) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：演習「第1回目の発表」

第3回
日　時：6月2日(木) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：「第1回目の発表へのフィードバック」

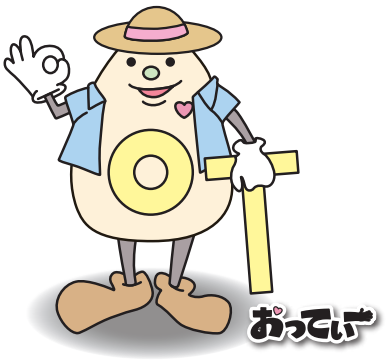
第4回
日　時：6月16日(木) 19:30～21:30
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：「第2回目の発表とフィードバック」

平成28年度　定時総会
日　時：5月22日(日) 10:00～12:00
場　所：大分オアシスタワーホテル
出席26名、議決560名

生活行為向上マネジメント　事例検討会
日　時：5月28日(土) 13:30～16:30
場　所：大分リハビリテーション専門学校
内　容：事例発表、グループディスカッション、事例報告
ファシリテーター：
佐藤 友美(大分県MTDLP推進委員／湯布院病院)
大田　繁(大分県MTDLP推進委員／湯布院病院)
花谷 達也(明和記念病院)
他大分県MTDLP推進チーム員

新卒者研修会
日　時：6月5日(日) 9:30～16:00
場　所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス
内　容：当協会の歴史・組織
公益社団法人としての役割について
各部局、各支部の説明・紹介
大分県作業療法士連盟、他関連団体について
参加者：66名

人材育成道場Ⅲ（講師編）
第1回
日　時：6月19日(日) 10:00～16:00
場　所：大分県作業療法協会ビル
内　容：①「地域ケア会議において作業療法士が果たす役割」
村田 健太(地域研修部長／湯布院病院)
②「グループディスカッション(事例を通して)」
佐藤 暁(常務理事／井野辺病院)
参加者：9名



原画作成者：諏訪の杜病院　兒玉 輝子

伝
DEN
No.19
編集・発行　公益社団法人 大分県作業療法協会
2016年10月12日 発行　発行部数 2300部

作業療法士の想い

居宅介護支援事業所勤務

佐藤 暁

現在私は、「直接的（生活課題の改善）に生活を支援する作業療法士」と「間接的（マネジメント）に生活を支援する介護支援専門員（ケアマネジャー）」の二足のわらじで働いております。作業療法士の基礎資格で介護支援専門員（ケアマネジャー）をしている方は多くはありません。しかし、作業療法士の強みを最大限活かすことで、介護支援専門員（ケアマネジャー）の業務を行う上で強みになっています。直接的・間接的の双方向から生活を支援できることは大きな可能性を秘めています。生活を支援するということは答えがありません。なぜなら一人ひとりの生活が違うからです。よって可能性は無限大です。対象者の「その人らしい生活」を達成できるよう直接的・間接的支援で日々仕事に励んでいます。

介護老人保健施設勤務

佐藤 友美

年をとっても、体に不自由があっても、認知症であっても、本当に「したいこと」があり夢中になると、活力に満ち笑顔があふれることを何度も経験しました。私は、対象者とそのご家族の暮らしの困りごとを解決することと共に、対象者が心から「したい」と望むことを丁寧に聞き、あらゆる方法を考えて、一緒に実現に向けて取り組むことを信条としています。

脳卒中センター勤務

細川 祐司

私は現在、回復期リハビリテーション病棟にて脳卒中を患った方々に対して作業療法を行っています。患者さんは片麻痺・高次脳機能障害によって身の回りのことがしにくくなったり、病気によって様々な不安を抱えたりしながらも日々リハビリに励んでいます。その人らしい人生が送れることを常に考え、患者さん一人ひとりに合わせた支援を他職種と協力して取り組んでいます。

リハビリテーション病院勤務

浅倉 恵子

「幸福とは」…人に～①愛されること、②褒められること、③役に立つこと、④必要とされることだそうです。人は、仕事＝作業をすることで幸福を感じます。それは、単に就労することだけでなく家事、孫の世話、畑仕事、庭の手入れ、地域の集いなどいろんな作業が存在します。私たち作業療法士は、年齢、疾患、障がい関係なく、作業を再獲得したり、新たな作業の場を発見するために、対象者の方とともにリハビリテーションに励んでいます。

療育センター勤務

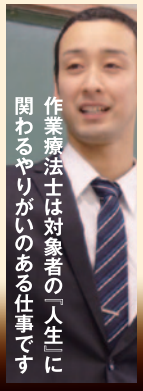
越智 絵里子

私は、主に脳性麻痺や自閉スペクトラム症、注意欠陥・多動症などの発達障がいのお子さんと関わっています。楽しめる遊びを提供しながら、運動や手先の練習、着替えやお箸などの日常生活動作、学校の先生に対し、児への関わり方を助言したり、環境の工夫について一緒に考えていきます。お子さんたちが「できた」という達成感を得ることで自信を持ち、生き生きと過ごせるようになることを目指しています。

訪問看護ステーション勤務

野上 可奈子

私は現在、訪問看護ステーションで訪問リハビリテーションを行っています。対象者は主に神経難病や癌の終末期の方々が多く、自宅に訪問しリハビリテーションを行っています。対象者の多くは医療的な管理が必要な為、他職種と密に連携をとりながら、在宅生活を支援していきます。住み慣れた地域で、自分らしく安心・安全に暮らせるよう、日々対象者の方々と向き合っています。



作業療法士養成校勤務

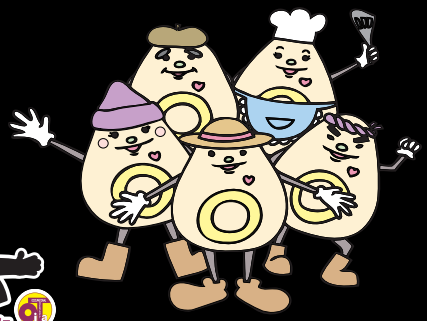
鳥越 克志

私は作業療法を学んでいる学生にはいつもこのように伝えています。ただ「やりがいがある」というだけではありません。そこには大きな責任も伴います。対象者の人生に関わるということは、それができるだけの知識・技術・経験、そして「心」が必要です。私も昨年までは病院で対象者と関わっていましたが、今は作業療法士を育成する教員として、知識・技術の習得を促すとともに、様々な経験を通して豊かな「心」を育むことを目標に学生と関わっています。

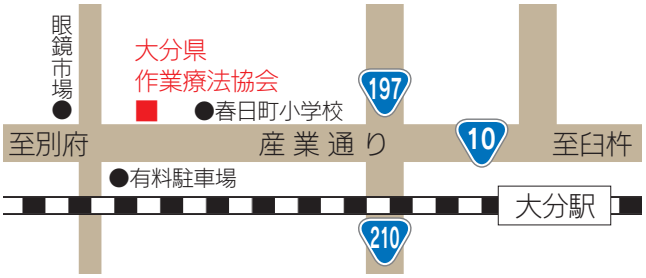
精神科病院勤務

梅田 大樹

私は現在、精神科病院に勤務し、入院患者さんを対象に作業療法を行っています。こころの病気を持つ患者さんの多くにマイナス思考による不安や自信の低下が見られ、それらがまたマイナス思考を増強させるという悪循環を起こしています。適切な作業活動や人との関わりの場を提供し、寄り添いながら「出来ていること」や「他者の役にたっていること」を伝えるなど、患者さんにとってより良い体験となるよう支援を行い、主体的な生活の獲得を目指しています。



おってぃー
公益社団法人大分県作業療法協会 キャラクター



リハビリテーションのことや、作業療法のことで分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。

公益社団法人　大分県作業療法協会
〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル
TEL:097-547-8662　FAX:097-547-8663
http://www.oita-ot.com

●本誌に掲載している写真については、すべてご本人・施設の了承を得ています。